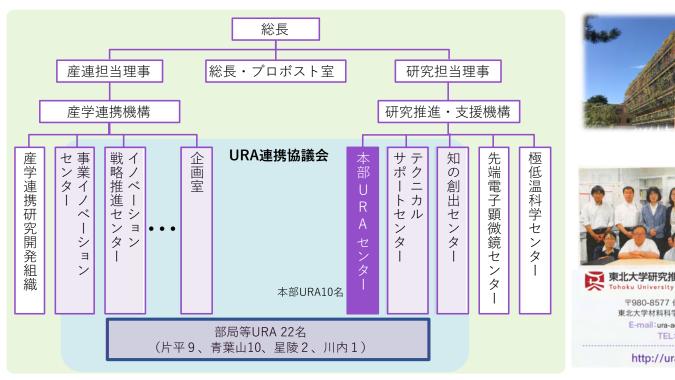
「URAセンターから見た ジャーナル問題」

河村 純一

東北大学 研究推進・支援機構 特任教授 リサーチ・アドミニストレーションセンター長

本部/部局URAによる研究推進・支援・連携体制 University Research Administration Center







東北大学研究推進・支援機構 URAセンター Tohoku University Research Administration Center 〒980-8577 仙台市青葉区片平2-1-1 東北大学材料科学高等研究所(AIMR) 3階 E-mail:ura-admin@grp.tohoku.ac.jp TEL:022-217-5344

http://ura.tohoku.ac.jp/

URAの主な業務

- 1 研究戦略推進
- 2 研究IR·研究力分析
- 3 産学官連携活動支援
- 4 国際戦略支援
- 5 広報・アウトリーチ・URA教育

支援内容例

- ・英語論文執筆セミナー・被引用数向上など
- ・外部資金申請・共同研究立案など
- ・産学連携・起業・知財戦略など
- ・国際共同研究・国際広報戦略など
- ・イベント企画・運営など



被引用数UPキャンペーン

背景:・被引用回数に基づく指標による評価(運営交付金傾斜配分等)

・本学の世界大学ランキングの「Citations」指標スコアの低さ





論文被引用数Upのために

目次

- I. なぜ論文引用数か?
- II. 引用数を増やす3つのポイント
- 1. 引用しやすい論文を書く
- 2. 論文のPRをしよう
- 3. 国際共著論文のすすめ

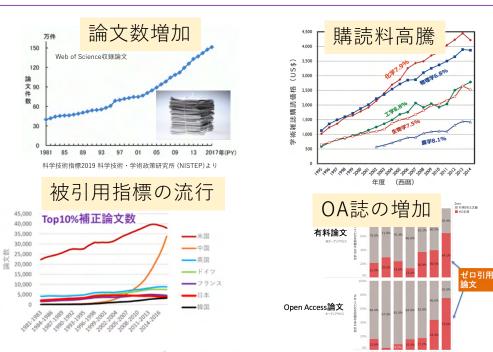
東北大学 研究推進・支援機構 特任教授 URAセンター長 河村 純一 URAセンター 特任助教 Hansen Marc



URAセンターから見たジャーナル問題

- 1. 電子ジャーナル化と購読料の高騰
- 2. 論文引用データベースの功罪

- 3. オープン・アクセス論文の功罪
- 4. オープン・サイエンスへの期待と課題

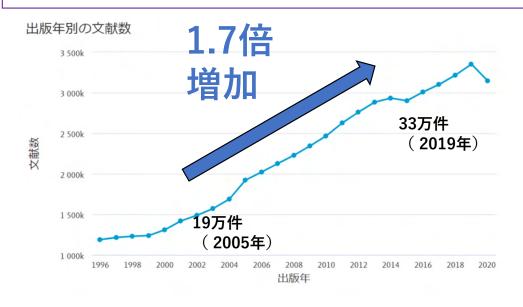








電子ジャーナル化と情報氾濫時代



優れた論文も膨大なネット情報に埋もれて気づかれない!



Scopusにおける日本語文献数の推移



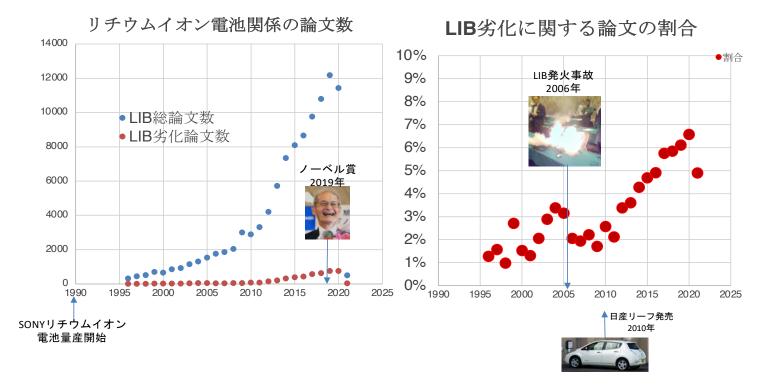
(Scopus, 2020.12.01)

"3見"問題

- ① 見えない
- ② 見れない
- ③ 見つからない

リチウムイオン電池の研究論文動向

Elsevier社 scopusより

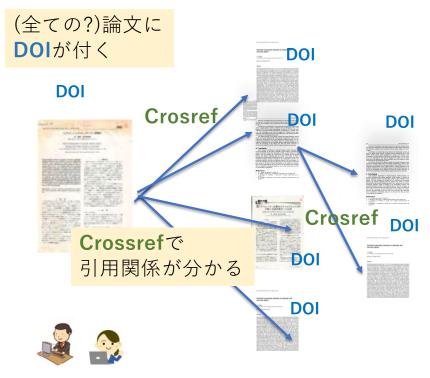


昔のように、全ての論文に目を通す事など不可能!!

⇒ Webで検索・・①上位の論文 ②キーワード絞り込み ③ウワサ・・ ¹¹

引用データベースの功罪

見つかる!



著者ID

(scopus Author ID) ; Elsevier社 (WoS Researcher ID); Clarovate Analitics社 (ORCID)

著者IDが分かれば、 その人の論文(**DOI**)が分かる。 例

10.1021/acs.jpcc.0c06375

DOIが分かれば その文献のサイトが開ける



論文データベース

論文分析ツール

検索サイト

キーワードなどで論文を探すことができる







Scopus





Web of Science





論文個々の被引用数 個人の被引用数

論文分析ツール





被引用数(個人,組織,国,分野,・・・) 分野等補正被引用数 (FWCI··) Journal IF TopX%論文、h-index、被引用率(Q值) ランキング順位, Altmetrix, SDGs スコア etc.

論文被引用数による「評価」の時代

被引用数ベースの指標 (IF, FWCI, Top10%論文数, h-index, Q値・・・・)が、様々なレベルで研究者・組織の評価に用いられる。

研究者個人レベル

引用数指標が必要なとき

- 就職
- 昇進
- · 受賞 etc.



組織・大学レベル

部局評価の指標

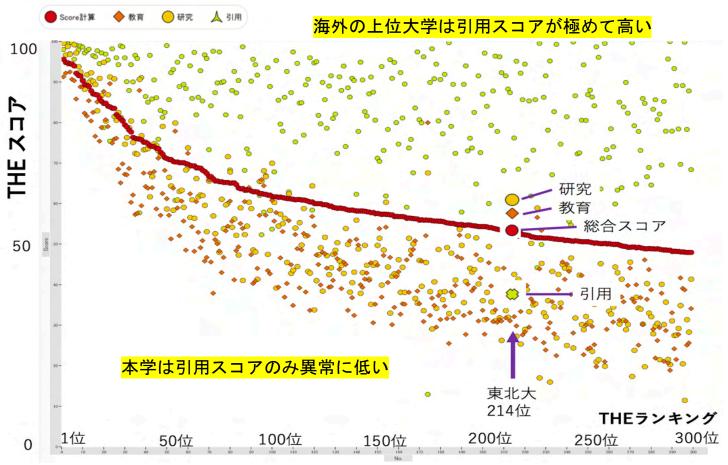
プロジェクト申請の資料プロジェクト評価の指標

大学の評価指標 Top10%論文比率により予算 の傾斜配分(文科省)



Times Higer Education 大学ランキング2021





THEの引用スコアは、scopusの被引用数(FWCI)を基に計算されている

引用数を増やす3つのポイント

 見つかりやすい論文 引用しやすい論文を書く



② 論文のPRをしよう

PR: Public Relations =社会との関係づくり=信頼構築



③ 国際共著論文のすすめ

国際コミュニティに入る・創る!





① 引用されやすい論文を書く

- ・まずは、優れた研究をするのが前提。
- ・論文執筆セミナーや英文添削サービス等を活用する。



П

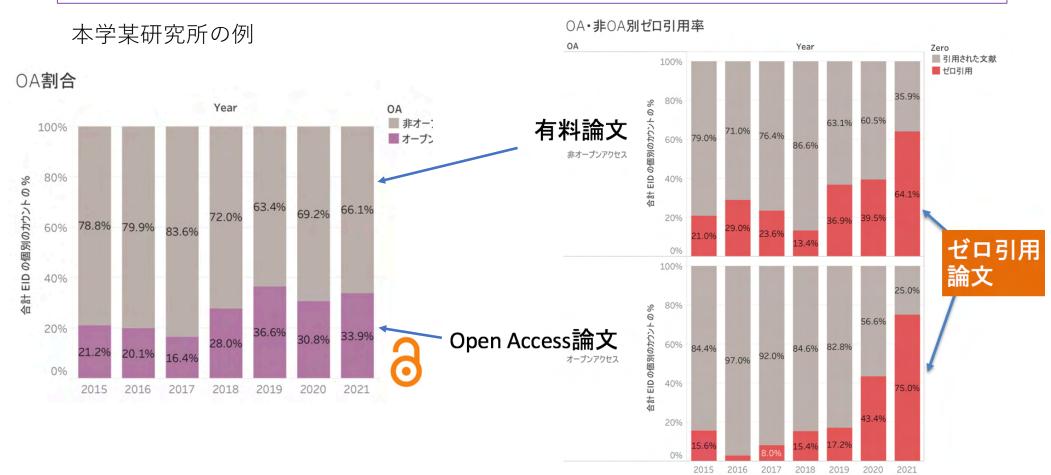
- ・タイトル、アブスト、キーワードに検索されやすい言葉を選らぶ。
- ・新発見・新概念・新説は強調。ネーミングが大事。
- ・美しいGraphic Abstractや引用し易い図を入れる。
- ・使えるデータ(数値)を入れる。Data出版の時代へ

Ш

- ・引用論文に留意:「**引用すれば引用される**」 日本の論文は参考論文が少ない。
- ・イントロダクションに、これまでの研究の経緯を適切な引用を含めて記す。 適切な自己引用も必要。
- ・プロシーディングやレターで終わらせずに**本論文**や<mark>総説</mark>を書く。
- ・一報だけで終わらせない。次の論文で引用する。



被引用数とOpen Accessの関係



問題: ・ハゲタカジャーナル問題

・掲載料(Article Processing Charge; **APC**)の高騰

国際PR作戦のポイント

│ 組織レベルのPR活動

広報誌、ホームページ メディアを活用、広告 メール配信、SNS配信 国際会議誘致、Web会議主催・・





※:プレスリリースは英語も (EurekAlert などに転載・・)

個人レベルのPR活動

Face to Face メール, SNSなど 学会活動



進研アド筒井瑛美, 海外向け研究ブランディング② 地上戦×空中戦の有機的な組み合わせ http://between.shinken-ad.co.jp/univ/2020/01/kenkyu-branding.html

個人レベルのPR活動のポイント

- ①著者しかできないピンポイントPR (最も有効):pdf送付作戦
 - ・論文の掲載が決まったら、<mark>関係者宛にpdfをメールで送る</mark>。



②新時代のデジタルPR

- ・研究者用SNSを活用する。(お勧め) R[®] A ^{ΔΔ} in
 - ex. **ResearchGate**, Academia, Mendeley, LinkedIn等 別刷りやプレプリントをuploadする。



・arXiv ,BioRxiv ,ChemRxiv, J-STAGE等 $\mathcal O$

プレプリントサーバやアーカイブスにuploadする ------ Green OA

- ・東北大学機関リポジトリ(TOUR)に登録する。
- ・ORCID, Researchmap, Google Scholar等の研究者DBに登録する。

③国際会議で発表しPRする

- ・学会で発表し、別刷りを手渡す。
- ・懇親会やエクスカーションでも売り込む。



別刷り送付やSNS活用が重要な裏の理由

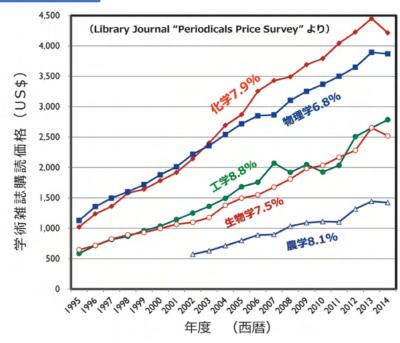
世界で論文のpdfまで見れる人は実は少ない!!

意外?? 東北大では大手出版社の論文は殆ど見れる!! : 大手出版社との包括契約(年間 ○億円)

「電子ジャーナル価格高騰問題」

世界では・・

- ① 伸び盛りのアジア諸国など多くの国々では、pdf はダウンロードできない!! (有料)
- ② ヨーロッパの主要国が購読料やOAを巡り出版社と交渉中!! ⇒ 大手出版社の論文が見れない国が続出!?



石田武和「電子ジャーナルの平等アクセス実現のための3つの提言」日本物理学会誌 Vol. 70, No. 6, 2015, 450. より

タイトルやアブストラクトはネットで見れるが、論文本体のpdfは読めない!! という研究者が世界的に増えている現実!!



Open Access, Open Scienceの動き・・

Open Science時代への期待 オープンサイエンス 一競争から協調パラダイムへ

論文数・ 引用競争

評価 資金配分 昇進

. . .



従来からの「競争パラダイム」

- ·Winner takes it all
- ・研究資源の囲い込み
- ・卓越した研究者
- ・永遠に追いつかない 途上国、一般の研究者

これからの「協調パラダイム」



課題

査読システム? 論文の質保証? 引用数評価?

ORCIDとOpen Science時代の研究者・・

貴方のあらゆる研究成果・データ・計画が世界中から見える時代へ

ORCID, Researchmap 等の研究者DBに登録する。



研究者(ORCID ID)と 研究成果(DOI)が 直接ひも付く 引用DB (Crossref)

大手出版社に直接依存しない

懸念

ORCIDのような国際NPOで可能か? 国の機関に頼るか?

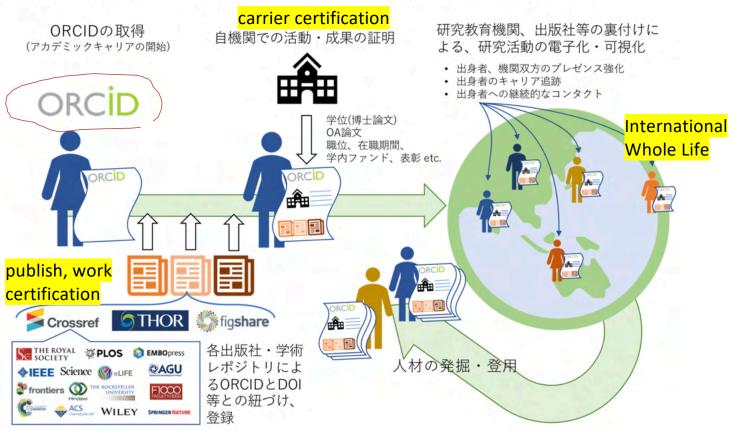
日本: Researchmap (国内のみ)

中国は??

国家主導 vs 国際連携

ORCID for Researchers Carrier

教員・学生のキャリア形成から見たORCID





ご清聴ありがとうございました。

東北大学 研究推進・支援機構 URAセンター

センター長

河村純一

研究力分析担当 Marc Hansen

022-217-6086

hansen.marc.a6@tohoku.ac.jp

